

いまこそ、国立から民主主義を!

大前提として、「市民が主役」の市政を実行する。そのために、市民の意見を政策に反映させる。

- ①民主主義を守る。一部の人が物事を決め、伝えるだけの政治はNO! 市民が主役です。
- ②市民の声に耳を傾ける。
恒常的な住民投票条例をつくって大事なことは決めていく。
- ③国立駅前まちづくりについては、既に決まったこととしてではなく、もう一度見直す。さくら通りは、桜を守るという大前提のもと、プランをつくり、市民と考える。
- ④市民を犠牲にした市財政「黒字化」は疑問。財政は、市民が豊かで、しあわせに暮らすために使う。公共料金はできるだけ抑える。
- ⑤公立保育園、給食施設、公民館、図書館は、市が維持する。
- ⑥しょうがいしゃが、あたりまえに暮らすまちづくり。
- ⑦生きづらいつ感じている方の話をよく聴き、いっしょに考えていく。
- ⑧国のいいなりにならない、国立らしい教育を守る。
- ⑨戦争ができる国にしようとしている安倍政権に対し、国立からNO、ストップと声をあげる。



無所属 57歳
神田
かんだ
きょうすけ
かんだ
 共産党・生活者ネットワーク・社民党・緑の党 支持・支援

神田きょうすけ 齋藤 駿 (カタログハウス会長)
 さんを推薦します。 上原 公子 (元国立市長)
 川口智久 (一橋大学名誉教授)

【プロフィール】 1957年11月7日香川県生まれ。その後、大阪、神戸、大阪、東京、沖縄、東京と父の仕事(毎日新聞記者)の関係で、転居、転校を繰り返す。特に復帰前の沖縄で中学の3年間を過ごしたが、現在の考え方の骨格になる。国立高校ラグビー部出身。1989年電通入社。2015年3月退職。爆撃機が飛ぶ下での授業、沖縄戦を知らなかった自分、芝生が広がる基地内のハウスなどの衝撃から、仕事のかたわら平和運動に。国立で「ふつうの目になったのか原爆の日展」を企画、実行して7年目。住基ネット、異議問題のチラシを企画、作製、配布。国立の道標に鉛筆を提案し作製、市内各所に配置。1993年から2012年まで国立に暮らす。本好き、乱読、映画好き、猫を愛す。世界中を旅する。



未来に責任を持てる 市政の継続

教育・次世代 次世代を担う子どもの育成・若者の想いや夢を実現する場を設けます

- 保育園開所時間を20時まで延長を図るほか、待機児童0を目指します
- 不妊治療費助成制度を創設します
- 授乳やおむつ替えできるスペースを持つ「赤ちゃん・ふらっと」の設置を推進します
- 次世代を担う18歳～30歳の市民によるタウンミーティングを開催し、若者の意見を市政へ反映させます

生活・福祉 市民のいのちと健康を守ります

- 学校通学路等に安心・安全カメラを整備します
- 市民のいのちと健康を守るべく、CSW(コミュニティソーシャルワーカー)を配置し、地域の福祉力(認知症見守り等)を向上させます
- 高齢者の介護予防の強化を含めた、24時間体制の地域包括支援機能の更なる拡充を図ります

環境・景観 ずっと住み続けたいくにたちへのまちづくりを実現します

- 紛争が起きにくいまちを目指し、「(仮)まちづくり条例」を制定します
- UR(都市再生機構)と連携した富士見台地域の活力あるまちづくりを進めます
- 甲州街道の2車線化、歩道拡幅に向けた働きかけを行い、歩行者の安全を確保します

行政・改革 持続可能な行政、もっと信頼される行政を目指します

- 休日開庁・証明書コンビニ交付の実施、並びに国立駅高架下に市役所サテライトを開設し、更なる市民サービスの向上を目指します
- 職員の人事評価を給与に反映し、実力主義で年齢、性別等関係なく登用します
- オンブズマン制度を設立し、行政の透明性を高めます

推薦団体 自由民主党 / 公明党 / 連合東京

国立市長としての4年間の確かな実績

- 市民目線の財政改革で赤字から黒字へ!!
- 4年間で市税徴収率全国1位!!
- 全国トップクラスの地域包括ケアシステムの実現!!



現市長 無所属

佐藤かずお

佐藤かずおプロフィール
 昭和22(1947)年香川県(現在の国立市の三百年続く旧家に生まれる。戦後の谷保村、国立町、国立市の歩みとともに成長する。昭和41(1966)年に国立市市役所入庁。秘書広報課長、福祉部長、総務部参事を歴任。平成12(2000)年に退職後、国立市社会協議会会長、医療法人社団つくし会事務局長などを務め、平成23(2011)年市長初当選。現在1期目。

国立市議会議員選挙

国立市長選挙

投票日 4月26日(日)

午前7時から午後8時まで